



心地よい音の響きを楽しむ

オルゴールの会

音楽愛好家グループ「オルゴールの会」(山口礼子代表世話人)主催コンサート『春風にのせて 心をつなぐコンサート』が1月21日、文化会館で開催されました。

16回目となる同コンサートには、山口修さん(ギタリスト)と純子さん(ソプラノ歌手)夫妻、関家真一郎さん(マリンバ)が出演。アフリカの民族楽器マリンバの優しい音色と、ギター、歌声の澄んだ音の響きが重なって生まれる美しいメロディが会場に響きました。馴染みのある曲なども演奏され、会場に訪れた観客は、素晴らしい演奏に聞き入っていました。

この日の収益金は、市立図書館への児童図書への寄贈とユニセフ募金に活用されました。



いつまでもお元気で

田淵キノさん 100歳のお誕生日

田淵キノさん(鷹島・阿翁浦)が1月18日、100歳の誕生日を迎えました。

田淵さんは大正7年生まれ。鷹島町の漁家に3人兄弟の長女として生まれ、同町の漁家に嫁ぎ、7人の子どもに恵まれました。

ゲートボールや歌を歌うことが大好きな明るい性格で、入所中の介護老人保健施設ケアポート楽寿園(伊万里市)ではのんびりと過ごされています。

この日、入所中の同施設で家族らに囲まれ、お祝いの言葉と花束を受け取りました。



G'day! Mackay! 深まる交流

グッダイ マッカイ
オーストラリア・デー イベント

オーストラリア・デー(オーストラリアの建国記念日)に合わせた記念イベントが1月28日、生涯学習センター(きらきら21)で開催されました。

このイベントは、本市の姉妹都市であるオーストラリア・マッカイ市と国際教育活動の一環として実施しています。

会場には、市内の小学生など約150人が集まり、スカイプ(インターネット電話サービス)を利用したテレビ電話で、マッカイ市の皆さんとの交流を楽しみました。

このほかにも、姉妹都市交流をPRする写真の展示、ゲームなどが行われ、会場を訪れた人たちは、オーストラリアの文化に触れて楽しいひとときを過ごしました。



音楽を楽しみ技術を高める

第8回まつうら音楽コンクール

第8回まつうら音楽コンクール(松浦音楽連盟主催)が1月27日・28日の両日、文化会館で開催されました。

今回のコンクールは、小学校・中学校・高校の部門ごとに行われ、市内外から過去最多の261人が出場し、ソロ演奏の技術を競いました。

出場者たちは、日頃の練習の成果をしっかりと発揮し、豊かな音色を会場に響かせました。

各部門の最優秀グランプリは、次のとおりです。(敬称略)

【小学の部】藤原万葉(志佐小6年)

【中学の部】金本琴乃(佐世保北中3年)

【高校の部】伊藤莉子(佐世保北高2年)



文化の祭典 華やかに開催

第7回文化公演

第7回文化公演が2月11日、東部交流センター（今福公民館）で開催され、市内のさまざまな地域団体やサークルなどが日頃の活動の成果を披露しました。

舞台発表では、太鼓、合唱、舞踊など迫力ある演奏や演舞が披露され、会場から大きな拍手が送られました。

また、展示発表では、絵画や木彫、絵手紙などさまざまな作品が並び、来場者たちはそれぞれに感性が光る作品を熱心に見入っていました。

世代を問わず一緒に活動を楽しみ、つくりあげられた作品に触れた経験は、皆さんの今後の活動に活かされます。



特産品のお茶をもっと身近に

お茶の淹れかた教室

県北地域（松浦市、佐世保市、佐々町）の茶の生産者で組織する「ながさきグリ茶研究会」が主催するお茶の淹れかた教室が2月15日、松浦高校で開催されました。

ながさきグリ茶研究会は、茶の消費拡大や茶の栽培に関する研究活動を行っています。お茶を飲む習慣を次世代の家庭に受け継いでもらおうと、3年前から高校3年生を対象にお茶の淹れかた教室を行っています。

今回、松浦高校3年生53人が体験。産地や効能などのお茶の知識を深め、おいしいお茶の淹れかたを学びました。

普段何気なく口にするお茶が、淹れ方で味が変わることや地元のお茶の美味しさを改めて実感しました。



地元のお茶のパワーを体感

松浦茶業部会によるうがい茶の贈呈

JAながさき西海茶業部会松浦地区部会（松本敏明^{としあき}部会長）は1月29日、たのしか保育園にうがい用の緑茶を贈りました。

お茶の成分「カテキン」には殺菌作用があり、市内では、インフルエンザが流行し、学級閉鎖もでていいる中、風邪予防などの効果も期待できます。今回、市内の小中学校や保育園などにうがい茶が配られ、市の特産品である松浦茶を使ったうがいの実践を呼び掛けました。

部会長らが作り方や効能を説明し、子どもたちが実践。上手にガラガラうがいをして「苦かったけど楽しかった」と笑顔で話してくれました。



互いに向けられた愛情に気づく

松浦市PTA 連合研究大会

平成29年度松浦市PTA連合会研究大会が2月11日、文化会館で開催され、約350人が集まりました。

大会は、市内の子どもたちの健全育成と会員の資質向上を目的に開催されており、今回は、講師にシンガーソングライター・ラジオパーソナリティの川田金太郎^{かわだ}さんを招き、「伝えあいたい 親の心、子の心、地域の心」と題し講演が行われました。川田さんは、普賢岳災害キャラバンを機に、雲仙市国見町に移住され、長崎を元気にする活動に取り組まれています。

川田さんの軽妙なトークと歌に、大人も子どもも引き込まれ、親の子に対する深い愛情や気持ちを伝えあうことの大切さを学びました。

